

# 黄斑円孔手術クリニカルパス

\* 症状や経過によっては、スケジュール通りにならない場合がありますので、ご了承ください。

手術前日(入院日)		手術当日	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目(退院日)	
右目( 月 日) 左目( 月 日)		右目( 月 日) 左目( 月 日)	右目( 月 日) 左目( 月 日)	右目( 月 日) 左目( 月 日)	右目( 月 日) 左目( 月 日)	右目( 月 日) 左目( 月 日)	
観察	状態に合わせて、体温や血圧をはかります	眼の痛み、充血、頭痛、目やに、吐き気などの観察を行います。また、皮膚が赤くなっていないか確認します。少しの変化でも医師・看護師にお知らせください ベッドの周りに危険なものがないか確認します					
安静度	制限はありません	手術後からは医師の指示が出るまで、うつむきの姿勢を行ってください 転倒予防のため最初のトイレは看護師が付き添います(夜間など必要時は看護師を呼んでください)			手術後はトイレ以外ではベッド上で安静にしてください		病棟内であれば動いていただいてかまいません 
		手術後はトイレ以外ではベッド上で安静にしてください			病棟内であれば動いていただいてかまいません 		病院内であれば動いていただいてかまいません
食事	普通食がでます(治療食の場合もあります) 	12時前の手術の場合手術の2時間前から、 12時以降の手術の場合手術の3時間前からは 飲んだり食べたりできません 	普通食がでます(治療食の場合もあります) 			午前中で退院となります 昼食が必要の方はお伝えください	
清潔	制限はありません * 手術当日は入浴、洗髪はできませんので 入浴しましょう	朝洗顔をしましょう。入浴できません。	首から下のシャワー浴ができます (電気カミソリで髭剃りができます)	洗髪は目をぬらさぬように介助で行うことができます * 通常の洗髪・洗顔は手術後2週間目から できます 			
診察	朝(7時頃)に散瞳の点眼後、8:30頃から病棟で診察があります 						
処置	手術2時間前から15分毎に散瞳の点眼があります * 点眼を開始したら、部屋にいるようにしてください						
検査	外来で眼の検査があります <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">検査</span>						
薬物療法	点滴	手術中点滴を行います					
	内服	常用薬を看護師がお尋ねします 医師の中止の指示がなければ、継続して飲んでください	薬剤師から手術後の内服について説明があります(術後1日目になることもあります) 手術後から痛み止めの内服があります(手術後にお渡しします) 		朝から抗生剤をお飲みください (朝看護師がお渡しします)		
	点眼	常用薬を看護師がお尋ねします 持参の点眼薬は、医師に確認後継続かお伝えします 外来で処方された点眼を継続してください 眠前に手術する側の眼に感染予防の軟膏を塗ります	診察後から目薬があります 看護師が行ないますので、お部屋でお待ちください			点眼の手技を確認します 点眼の時間は朝、昼、夕、寝る前で都合のよい 時間に行ないましょう 	
説明指導	病棟内の構造と、入院生活上の注意点を説明します 今までにかかった病気について、看護師が伺います 看護師から手術前後についての説明があります 午後3時すぎに手術予定時間をお知らせします 同意書の提出をお願いします クリーンコットンを用意しましょう (手術後眼の周囲を拭くのに使います) スリッパでは滑りやすいため、靴を履きましょう	病衣へ着替えをしましょう 手術に行く前に手洗いをおすすめください 手術に行く前までにメガネ・入れ歯・指輪・時計 かつら・アクセサリなどは外しましょう 手術室までの往復は車椅子で行きます 手術は部屋を出てから帰るまで約1時間です 痛みの程度は数字の0から10(0:痛みなし 10:これ以上考えられないほどの痛み)で伝えましょう 片目での生活のため注意してください(階段の使用は避けましょう)	退院後の生活について看護師から説明をします 退院指導「黄斑円孔手術を受けられた方へ」の用紙をお渡しします			診察券・次回の予約券をお渡します 退院後の薬について薬剤師から説明があります 	
目標	入院中のスケジュールがわかり、手術の準備ができる 転倒・転落なく入院生活を送ることができる(ベッドの周りを片付け、ベッドの高さは一番低くしましょう) 自らまたは家族により清潔に点眼ができる	手術後の留意点ができる(うつむきの姿勢を守ることができる、打撲や圧迫をしない、眼帯を外したり、不潔な手で眼に触れたりしない) 合併症の出現による変化があった時に伝えることができる 創部の痛みなく過ごす事ができる。圧迫部位の発赤がなく過ごす事ができる			自らまたは家族により清潔に点眼ができる 退院後の生活における留意点ができる		

\* 疑問や質問がありましたらスタッフに確認してください。

2018年 9月作成(2019年8月改訂) 聖隷浜松病院 B4病棟作成